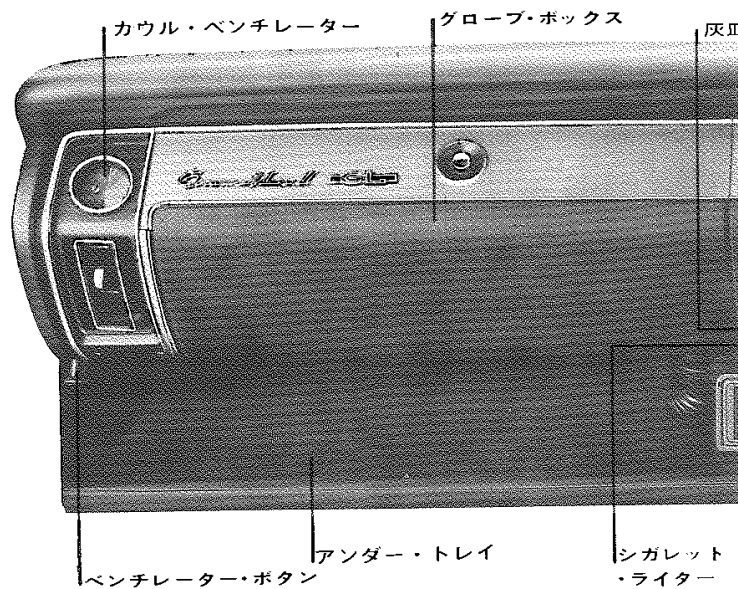
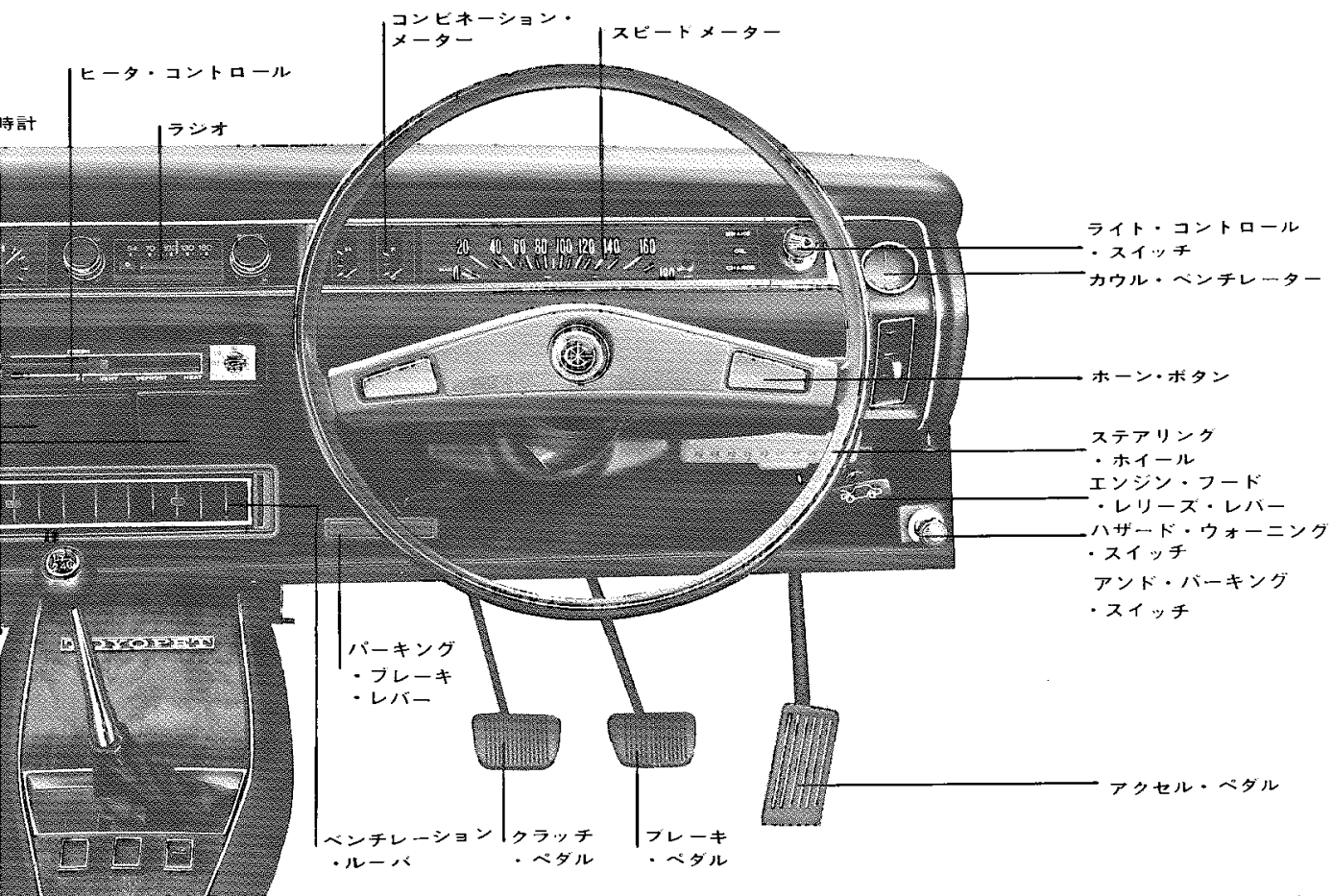


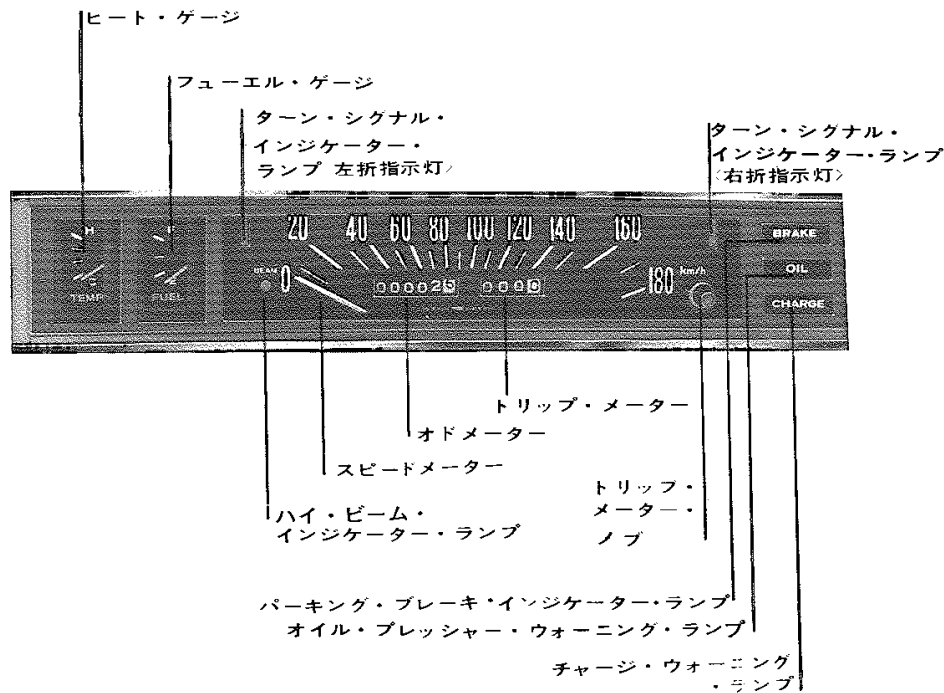
運転装置と計器盤

CORONA *MARK II* 1700 HARDTOP / 1900 HARDTOP





メーター関係



■オドメーター〈積算距離計〉

今までに走行した総距離をkmの単位で表わします。この数字を見て定期点検整備を行なってください。

白字に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター

必要に応じて0にもどすことのできる積算距離です。

数字の単位はオドメーターと同じです。数字をもどすときは、トリップ・メーター・ノブを右にまわしてください。

■ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ〈前照灯の指示灯〉

ヘッドランプがハイ・ビーム〈4燈全部点燈〉であるとき、BEAMランプ（青色）が点燈します。

■パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ〈駐車ブレーキ指示灯〉

エンジン・スイッチがONの位置で、パーキング・ブレーキが引いてあるときに、BRAKEランプ（赤色）が点灯します。その状態でブレーキ・ペダルを踏むとBRAKEランプが消えます。

無断複製禁止

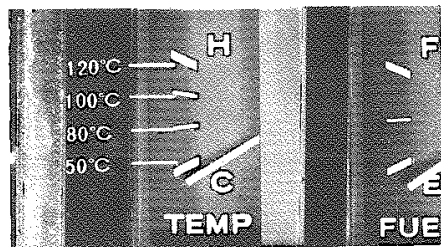
■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ〈油圧警告灯〉

運転中、潤滑系統が異常のときにOILランプ（赤色）が点燈し、警告します。エンジン・スイッチをONにすると点燈し、エンジン回転数がわずかがあがると消燈するのが正常です。（消燈しない場合は、53頁を参照して点検してください）

■チャージ・ウォーニング・ランプ〈充電警告灯〉

運転中、充電系統が異常のときにCHARGEランプ（赤色）が点燈し、警告します。エンジン・スイッチをONにすると点燈し、エンジンを始動すると消燈するのが正常です。（消燈しない場合は、53頁を参照して点検してください）

■ヒート・ゲージ



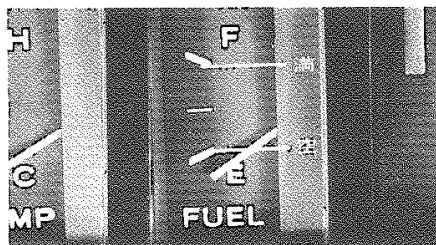
エンジン冷却水の温度を示します。

エンジン・スイッチがONのとき作動しOFFにすると“C”側にもどります。

冷却水適温…75℃～95℃

冷却水温度が110℃以上(オーバー・ヒート)になつたときは、49頁を参照して適切な処置をしてください。

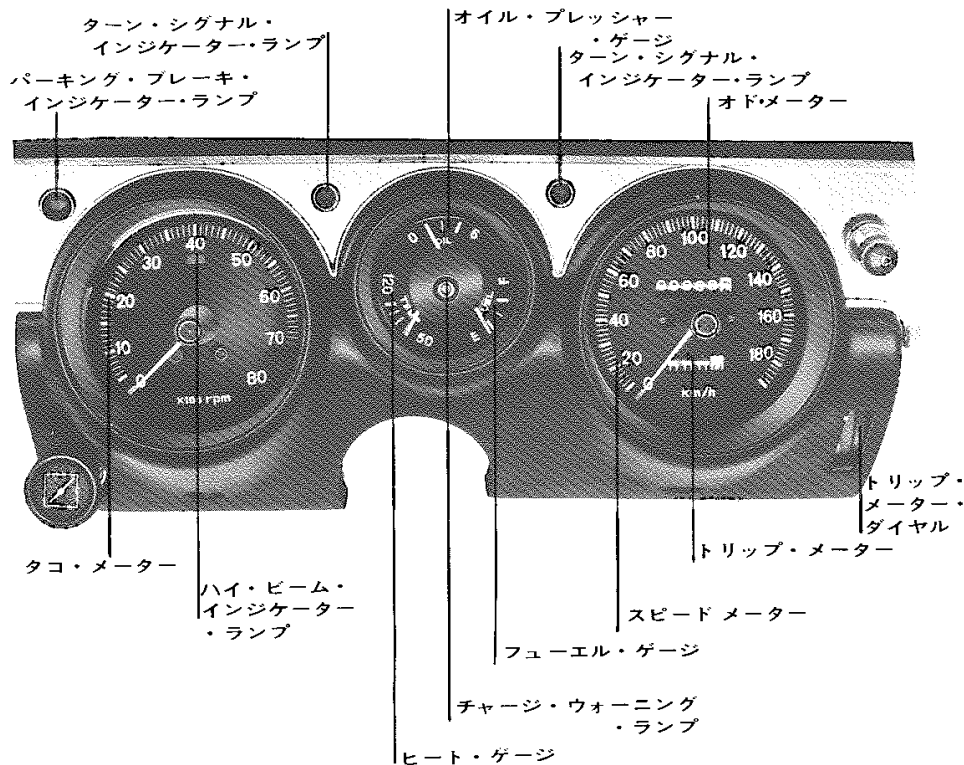
■フューエル・ゲージ



フューエル・タンク内のガソリン量を示します。

エンジン・スイッチがONのとき作動しOFFにすると“E”側にもどります。指針がEを指示したら、ガソリンの補給をしてください。

メーター関係〈SL車〉



各装置のうち、ハード・トップデラックスと同じ内容の項目は省略してありますので前頁を参照してください。

以下異なる点のみを説明します。

■トリップ・メーター

数字を0にもどすときは、トリップ・メーター・ダイヤルを下にまわします。

■タコメーター〈エンジン回転計〉

エンジンの毎分回転数を示します。

目盛は100倍して読みます。

タコメーターの目盛は6,500r. p. m以上は赤色で塗られています〈レッド・ゾーン〉ので、エンジン回転数がこの範囲に入らないようにして運転を楽しんでください。

エンジン回転数が6,500r. p. mのときの各段の最高速度は次のとおりです。

- | | |
|-----|-----------|
| 1 速 | 50km / h |
| 2 速 | 85km / h |
| 3 速 | 130km / h |
| 4 速 | |

《注意》

高速でシフト・ダウン 〈低速ギヤにきり無断複製禁止

かえること)するとき、エンジン・ブレーキを使用するとき、又追越しをするときなど6,500r.p.mを越えないようにしてください。

■オイル・プレッシャー・ゲージ 〈油圧計〉

エンジン回転時の潤滑油の圧力を示します。

走行中、エンジンの回転数に応じて、1～5 kg/cm² の範囲内で作動すれば正常です。エンジンの回転を上げても、1 kg/cm² 以上を指示しないときは潤滑系統に異常がありますので直ちにエンジンを止め、エンジン・オイル量を点検してください。エンジン・オイルが正規に入っているときは、他に故障がありますので、サービス工場に連絡してください。

■ヒート・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときに冷却水の温度を指示します。

ヒート・ゲージの日盛は50側から50℃、80℃、100℃、120℃を表わします。

冷却水温が110℃を越えたときはエンジ

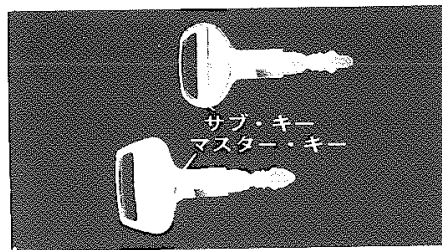
ンに無理をさせないようにしてください
(51頁オーバー・ヒートしたときの項参照)

■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときに、ガソリン・タンクのガソリン量を指示します。Fは満量を示し、Eはガソリンの補給を必要とすることを示します。

スイッチおよび レバー関係

■キー



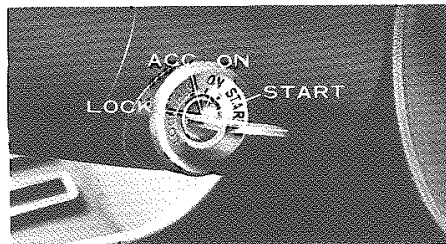
コロナ・MARK IIのキーは、両差しのマスター・キー方式で、上下の方向性がありませんので便利です。

マスター・キーは、お車のすべてのキー・シリンダーに使用できます。

サブ・キーではトランクとグローブ・ボックスの施錠、解錠ができませんので、お車をあずける際など、トランクやグローブ・ボックスを開けられたくないときに利用できます。

万一、キーを紛失されたときは、コロナマークII取扱店にご相談ください。

■エンジン・スイッチ



ON……エンジン運転中の位置です。
 START……エンジンを始動するときの位置で、スターター・モーターが作動します。始動後キーから手をはなすと、キーはスプリングの力でONの位置までもどります。
 ACC……エンジンを止めたまま、ラジオが聞ける位置です。
 LOCK……キーの抜き差しできる位置で同時にステアリング・ホイールをロックしてしまう位置です。
 キーをLOCKの位置にして抜き、ステアリング・ホイールを左右に動かすと、ある位置で固定し動かなくなってしまうので、お車の盗難防止に役立ちます。

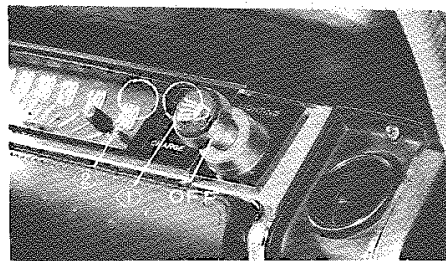
ステアリング・ロックを解く場合には、キーを差し込み、ステアリング・ホイールを軽く左右に動かししながらACCの方向にまわします。

■ステアリングのロックについて

《注意》(エンジンをかけられない時)けん引される場合または下り坂を下る場合は必ずエンジンキーをONにしてステアリング・ロックを解除してください。

エンジン・キーがLOCK位置のままでけん引されたり、または下り坂を下りますと、ハンドルがロックされ、非常に危険です。

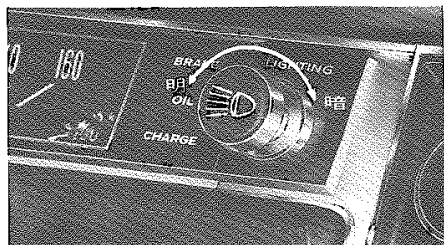
■ライト・コントロール・スイッチ



2段引き出し式です。
 エンジン・スイッチに関係なくランプがつきます。
 ①および②でそれぞれ次の○印のランプが点燈します。

燈 火 名	①	②
ヘッドランプ		○
スモール・ランプ(車巾燈)	○	○
テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○
コントロール・ポジション・インジケーター・ランプ(トルコン車)	○	○

■ GL. GSLのスイッチの場合

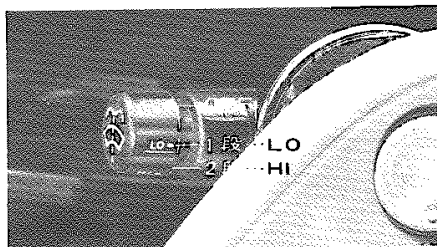


2段引き出し式は同じですが、スイッチをまわすことにより、メーター・パイロット・ランプの明るさを調節することができます。

左にまわすと明るくなり、右にまわすにしがって暗くなります。

右にいっぱいまわすと、メーター・パイロット・ランプは消えます。

■ワイパー・スイッチと ウインドウ・ウォッシャー

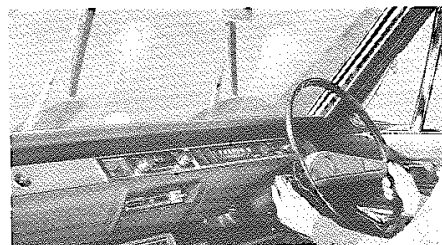


ワイパー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのとき作動します。スイッチは2段回転式です。

前側に1段（LO）まわすと低速、2段目（HI）までまわすと高速で作用します。

埃がついているときにはそのままスイッチを入れずに、あらかじめガラスを清掃してから使用してください。



ウインドウ・ウォッシャー……

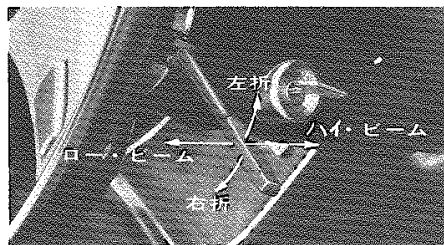
スイッチを押している間、前面ガラスに洗滌液が噴射されます。

スイッチから手をはなすと止まります。

《注意》

ガラスに泥水・埃がついている場合はワイパを、また、ウォッシャー液が空のときウォッシャーを、作動させないでください。

■ ターン・シグナル・アンド・ディマーマイ・スイッチ



ターン・シグナル・スイッチ……

エンジン・スイッチがONのときに作用します。

レバーを上(左折)、または下(右折)の位置にすると、ターン・シグナル・ランプが点滅します。このとき、計器盤のターン・シグナル・インジケーター・ランプ(緑色)も同時に点滅します。

ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。

《注意》

Y字路など、ハンドルの操作の少ないときはレバーが自動的にもどらないときがあります。このようなときは手でもどし

てください

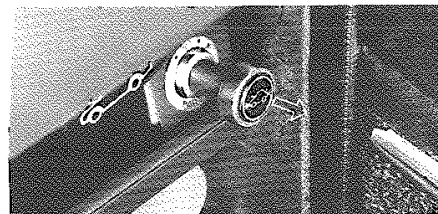
ディマーマイ・スイッチ

スイッチ・レバーが向こう側のとき、ハイ・ビーム(4燈点燈)、手前側のときロー・ビーム(2燈点燈)となります。ハイ・ビームのとき、コンビネーション・メーター内のハイ・ビーム・インジケーター・ランプ(青色)が点燈します。

ヘッド・ランプ・ホーン

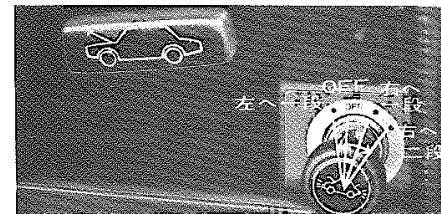
レバーをロー・ビームの位置から手前に引くとライト・コントロール・スイッチに関係なくヘッド・ランプのハイ・ビームが点燈しますが、手を離すと自動的にレバーがもどり消えます。

■ ハザード・ウォーニング・シグナル・スイッチ(非常点滅表示灯スイッチ)



スイッチを引き出しますと、ターン・シグナル・ランプが前後左右とも全数点滅し、お車が緊急駐車中であることを知らせます。このとき、コンビネーション・メーター内のターン・シグナル・インジケーター・ランプ(緑色)が左右とも同時に点滅します。

■ パーキング・ランプ・スイッチ



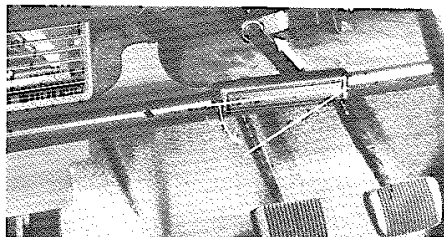
夜間、長時間にわたって駐車するときにご利用ください。

左へ一段…左側前後のパーキング・ランプが点灯

右へ一段…右側前後のパーキング・ランプが点灯。

右へ二段…前後左右のパーキング・ランプが同時に点灯

■ パーキング・レバー



レバーをいっぱい引くと、後2輪にブレーキがかかります。

レバーを左にまわし、いっぱい押しもどすとブレーキがはずれます。

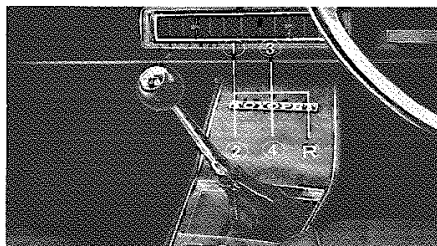
エンジン・スイッチがONのときにパーキング・ブレーキを引くと、コンビネーション・メーター内のBRAKEランプがつかまります。

《注意》

BRAKEランプが消えるのを確かめてから出発してください。

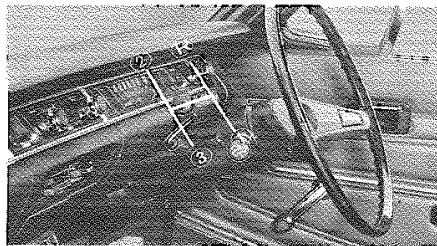
■ シフト・レバー

4段トランスミッション車



オール・シンクロメッシュの前進4段と後退1段です。

3段トランスミッション車



オール・シンクロメッシュの前進3段と後退1段です。

シフト・パターンは次のとおりです。

4段トランスミッション

- ① ファースト
- ② セカンド
- ③ サード
- ④ トップ
- Ⓜ リバース

3段トランスミッション

- ① ファースト
- ② セカンド
- ③ トップ
- Ⓜ リバース

エンジン・スイッチがONのときコントロール・レバーをRの位置にするとバック・アップ・ランプがつかまります。

リバースへは車が完全に停止してからシフトしてください。